

# 平成 25 年度 事業報告

## 1 事業の成果

平成 25 年度は、世田谷区駒沢地区を主な活動場所として、環境学習・教育事業、環境保全に関する普及啓発事業、情報収集及び情報提供事業を行った。また、大阪市住之江区における活動も行い、活動場所の拡大を図った。

定例講演会は第 125 回（年度中 8 回）を迎えた。

また、久光製薬ホットハート倶楽部の助成対象団体に選定され、2 月に 10 万円の寄付金を受け取った。

### 【環境学習・教育事業】

「子ども環境カレッジ」と題し、小中学生を対象として、昨年と同様に GE カレッジホールを利用した「夏休み☆環境＋生きもの体験」を実施したのに加え、大阪市住之江区のシーサイドコスモにおいて「シーサイドコスモの身近な生きもの探検隊」を開催し、身近な環境について体験し考える環境教育を行った。

また、一般市民を対象とした定例講演会を、世田谷区駒沢地区において 4 回、大阪市住之江区で 3 回、仙台市で 1 回開催した。なお、これらの講演会はテレビ会議システムを利用し、全国 10 か所でも聴講できる形式で開催している。

この他に世田谷区経堂小学校からの依頼で、学校ビオトープの整備・管理方針に対するアドバイスおよびビオトープを利用した環境学習の指導を行った。

### 【環境保全に関する普及啓発事業】

環境保全に関する普及啓発事業としては、平成 24(2012)年度の活動をまとめた「GEC 活動報告書 2013」を作成し、会員及び観察会や講演会の参加者に配布したほか、ホームページによる情報の発信を行った。

また、いであ(株)と連携し、防災・減災学習用教材「ぼうさいキング」の普及活動を行い、販売を担当した。

### 【情報収集及び情報提供事業】

情報収集及び情報提供事業として、神奈川県環境科学センターが実施している「河川のモニタリング調査」の調査方法や生物同定支援のために、SNS サーバーを利用した仕組みを提供しており、平成 25 年度は主として、モニタリング調査日程の案内や参加連絡などの掲示板として利用されている。

## 2 事業の実施に関する事項

### (1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者人数	受益対象者の範囲 および人数	支出額 (千円)
環境学習・ 教育事業	「子ども環境カレッジ」 環境と生物に関する 室内セミナー等	8月24日(土) (13:00~17:00)	世田谷区 駒沢	23人	小学生・幼児, 保護者 (35人, 18人)	121
	「子ども環境カレッジ」 水辺公園緑地の自然観 察会	11月9日(土) (9:00~12:00)	大阪市住之江 区シーサイド コスモ	10人	小学生・幼児, 保護者 (10人, 7人)	29
	環境保全に関する 講演会、 セミナー、 シンポジウム等	4月22日(月) 5月27日(月) 6月24日(月) 7月22日(月) 9月30日(月) 10月28日(月) 11月18日(月) 12月10日(月) (原則 17:00~ 18:30)	4,6,7,11月 世田谷区 駒沢  5,10,12月 大阪市  9月 仙台市	5人 /1回	一般市民 (※事務局・社員・外部の総数) 143人 174人 190人 156人 150人 114人 100人 110人	639
	学校ビオトープの 企画と管理	5月~1月	世田谷区 経堂小学校	3人	経堂小学校教員・児 童	0
環境保全に 関する普及 啓発事業	ホームページの運営	4月~3月	世田谷区 駒沢	15人	一般市民 (不特定多数)	25
	活動報告書の作成	6月発刊	世田谷区 駒沢	15人	一般市民 (発行部数 1,700)	450
	「東京湾大感謝祭」に パネル展示 「東京湾をよくするた めに行動する会」への 協力	11月23日(日)	江東区 青海	2人	一般市民 (300人程度)	0
	防災・減災学習教材の 制作・販売	8月~3月	世田谷区 駒沢	2人	一般市民 (不特定多数)	191
情報収集及 び情報提供 事業	「東日本大震災に伴う 水産業の復興に関する 協議会」(楽水会)の運 営協力	12月	世田谷区	3人	社団法人楽水会会 員及び福島県・茨城 県沿岸漁業従事者 (30人)	0
	ジュゴンのモニタリン グに関する技術開発	3月	横浜市都筑区	6人	ジュゴン生態研究 者	24
	「神奈川県河川のモニ タリング調査」へのサ ーバー提供	4月~3月	世田谷区 駒沢	2人	主に神奈川県民 (50人)	0

### (2) その他の事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者 人数	受益対象者の範囲 および予定人数	支出 (千円)
	実施せず					

## NPO 法人 地球環境カレッジ 平成 25 年度開催事業一覧(1)

日 時	事 業	備 考
4 月 22 日(月)	●第 118 回 (平成 25 年度第 1 回) 定例講演会 『健全な水循環と地下水管理』	守田 優先生 (芝浦工業大学工学部土木工学科 教授)
5 月 14 日(火)	◎経堂小学校 ビオトープ整備・活用の指導	
27 日(月)	●第 119 回 (平成 25 年度第 2 回) 定例講演会 『災害の時代を生きる - 津波・高潮防災からみた沿岸域のあり方とは -』	青木 伸一先生 (大阪大学大学院工学研究科 地球総合工学専攻 教授)
6 月 24 日(月)	●第 120 回 (平成 25 年度第 3 回) 定例講演会 『鉄鋼スラグを適用した海域環境改善技術』	中川 雅夫先生 (新日鐵住金株式会社 スラグ・セメント事業推進部 上席主幹)
27 日(木)	※平成 25 年度 (第 10 回) 通常総会  ◇GEC 活動報告書 2013 発刊	
7 月 22 日(月)	●第 121 回 (平成 25 年度第 4 回) 定例講演会 『次代に残す自然豊かな川づくりの実践』	吉村 伸一先生 (株式会社吉村伸一流域計画室 代表取締役、エンジニア・アーキテクト協会 (EA 協会) 副会長)
8 月 24 日(土)	○子ども環境カレッジ 「夏休み☆環境+生きもの体験」	GEC ホール 53 名参加 (小人 35, 大人 18)
9 月 30 日(月)	●第 122 回 (平成 25 年度第 5 回) 定例講演会 『東北マリンサイエンス拠点形成事業とこれまでの成果について』	木島 明博先生 (東北大学副理事, 大学院農学研究科教授, 東北マリンサイエンス拠点形成事業代表機関代表研究者)
10 月 28 日(月)	●第 123 回 (平成 25 年度第 6 回) 定例講演会 『大阪湾フェニックス事業の概要と環境配慮の取り組み』	久米 秀俊先生 (大阪湾広域臨海環境整備センター常務理事)
11 月 9 日	○子ども環境カレッジ 「シーサイドコスモの身近な生きもの探検隊」	シーサイドコスモ・いであ(株)大阪支社 17 名参加 (小人 10, 大人 7)
18 日(月)	●第 124 回 (平成 25 年度第 7 回) 定例講演会 『船舶の接岸・係留と大型浮体構造物への展開 船舶接岸用防舷材と PIANC の活動 -』	上田 茂先生 (鳥取大学名誉教授/いであ(株)技術顧問)
23 日	◇パネル出展:「東京湾大感謝祭」	「東京湾をよくするために行動する会」に協力
12 月 9 日(月)	●第 125 回 (平成 25 年度第 8 回) 定例講演会 『都市の熱エネルギー資源を利用する』	中尾 正喜先生 (大阪市立大学大学院工学研究科 特任教授, 大阪市立大学都市エネルギー研究開発センター長, 日本ヒートアイランド学会 会長)
16-17 日	△運営協力:「東日本大震災に伴う水産業の復興に関する協議会」現地調査	一般社団法人楽水会に協力

1月 14日	◎経堂小学校 ビオトープ活用の指導	
2月 10日	久光製薬ホットハート倶楽部寄付金目録贈呈式	久光製薬(株)本社
3月 11日	△ジュゴンのモニタリング技術開発に関する検討会議	

○環境学習・教育事業（子ども環境カレッジ）

●環境学習・教育事業（環境保全教育に関する講演会、セミナー、シンポジウム等）

◎環境学習・教育事業（学校ビオトープの企画・管理）

◇環境保全に関する普及啓発事業

△情報収集及び情報提供事業